花岡の十三森

十三森は、前九年の役の衣川の戦いに敗れた阿倍次郎貞任の兄阿倍太郎良宗が、目を患いめくらになったため、ひっそりとこの地にかくれ住み、十三仏を安置した所といわれている。身入地蔵堂は、盲目の阿倍太郎良宗を祀った墓と伝えられ、近くの目倉平（めくらたい）という地名は「めくら」にちなんで呼ばれたのだともいわれる。